

第2学年 国語 年間指導計画

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 評価の観点

国語への 関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを広げ、読書を生活に役立てようとする。	目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしている。	目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書いている。	目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。	伝統的な言語文化を楽しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を書き、楷書又は行書を選んで書いている。

3 評価規準

観点 方法	国語への 関心・意欲・態度	話すこと・聞く こと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	合計
提出物・観察	1 0	1 0	2			2 2
作品(書写・作文等)	8		8		1 0	2 6
定期テスト等	2	1 0	1 0	2 0	1 0	5 2
合計	2 0	2 0	2 0	2 0	2 0	1 0 0

4 使用教材

「新しい国語」(東京書籍)

5 年間学習計画(計 120時間)

学期	月	領域 教材名	学習目標	時間	主な評価規準	評価 方法
1	4	読む 木とともに人とともに 伝えたいと思うから	・心情を捉え、工夫して音読する。 ・心情表現に注意して、筆者の主張を捉える。	1 2	・心情を捉え、考えて音読している。(関心) ・心情表現に注意して、筆者の主張を捉えている。(読む) ・形式を理解し内容を捉え、読み味わっている。(読む)	観察 テスト
		書く 短歌を楽しむ 短歌のリズムで表現しよう ★言語活動 作成した短歌を互いに鑑賞し文章を書く。	・語句の表現に注意して、短歌を読み味わう。 ・短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。 ・学習したことを活かして、短歌を作る。	4 3	・一首を選び、鑑賞したことをまとめている。(書く) ・リズムを意識しながら、工夫して短歌を作っている。(言語)	
		言葉 共通語と方言 敬語	・共通語と方言の役割について理解する。 ・敬語の種類や使い方について理解する。	1 2	・共通語と方言の違いや役割について理解している。(言語) ・敬語の種類や使い方について理解している。(言語)	
		読む 字のない葉書 卒業ホームラン	・登場人物の言葉や行動に注意して、作品を読み味わい、ものの見方や考え方について自分の考えを持つ。	4 5	・表現に注意して、父の思いを捉えている。(読む) ・「私」の思いについて、考えたことを挙げている。(読む) ・表現に注意して、人物の思いを捉えている。(読む) ・作品中の人物について、考えたことを挙げている。(読む)	
	5	言葉 形の似た漢字 用言の活用	・形の似た漢字に注意する。 ・用言の活用形の種類や、活用の仕方について理解する。	1 2	・形の似た漢字について理解している。(言語) ・用言の六種類の活用形や、活用の仕方について理解している。(言語)	テスト 観察 テスト
		話す・聞く 聞き取って吟味しよう ★言語活動 複数の意見を聞き意見を述べる。	・問題意識を持って相手の話を聞き、自分の考えと比較する。	3	・事実と考えを聞き分け、問題意識を持って相手の考えと根拠を吟味し、自分の考えと比較している。(話・聞) ・文章のまとまりを捉えて全体を要約し、筆者の書き方の工夫について気づいたことを挙げている。(読む)	
		読む 食の世界遺産——鮎節	・構成や書き方の工夫に注意し、内容を読み取る。 ・筆者の考え方を捉え、自分の考えを持つ。	4	・具体例を示しながら、考えたことをまとめている。(読む)。	
		言葉 類義語・対義語 漢字の意味	・類義語と対義語について理解する。 ・漢字の意味を理解し、漢字を使いこなす。	1 1	・類義語と対義語について理解している。(言語) ・似た意味や反対の意味、思いがけない意味を持つ漢字について理解し、使いこなしている。(言語)	
	6	書く 調べて考えたことを伝えよう	・ふだんの生活やメディアなどで見聞きすることか	8	・テーマを設定し、テーマに合った調査方法を選んで	提出物

		★言語活動 言葉のレポートを書き意見交換をする。 読む 小さな労働者 読書案内	らテーマを決めて、調査する。 ・調べた事実や自分の考えが明確に伝わるように、構成を工夫してレポートを書く。 ・さまざまな情報源からの情報を比べて、まとめる。		情報を集めている。(書く) ・事実と考えを区別したり、小見出しを付けたりして、分かりやすい構成でレポートを書いている。(書く) 3 ・テーマを決めて情報を比較し、まとめている。(読む)	ワークシート
	9	古典 枕草子 徒然草 平家物語 (言語活動) 音読 漢詩 言葉 多義語 助詞 話す・聞く 説得力のある提案をしよう 1 ★言語活動 適切な資料を使い、王レプレゼンテーションをする。 落葉松 恥ずかしい話 言葉 同訓異字 助動詞 書く 反対意見を想定して書こう 1 ★言語活動 立場を明確にして意見文を書く。 1 読む 走れメロス 言葉 話し言葉と書き言葉 同音異義語 書く 依頼状やお礼状を書こう 2 読む 神奈川沖浪裏 本で世界を広げよう	・筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・リズムを味わいながら音読を楽しむ。 ・現代語訳を手掛かりに内容を読み取る。 ・表現の特徴を生かして朗読し読み味わう。 ・場面や状況を読み取り、当時の武士の生き方や心情について理解を深める。 ・表現の特徴を捉え、繰り返し朗読して漢詩の世界を楽しむ。 ・情景や作者の思いを捉える。 ・多義語について理解する。 ・助詞の種類や働きについて理解する。 ・聞き手の立場や考えを想定し、説得力のある話を組み立てる。 ・資料を活用し分かりやすく印象的に話す。 ・情景や心情を捉えリズム良く朗読する。 ・抽象的な語句に注意して読む。 ・筆者の論の進め方の工夫を捉える。 ・筆者の考え方について知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。 ・同訓異字を使い分ける。 ・助動詞の種類や意味について理解する。 ・自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。 ・効果的に伝わるよう根拠を具体的に記述したり他の立場への反論を盛り込んだりする。 ・情景描写に着目して、作品を読み深める。 ・場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。 ・それぞれの特徴について理解する。 ・同音異義語を使い分ける。 ・相手や目的にふさわしい文章の形式について理解する。 ・語句や文の使い方などについて推敲する。 ・複数の本を読んで、比べながら考えをまとめ、紹介をする。	2 2 4 2 6 1 4 1 2 7 5 1 1 3 3 4 1 2 6 9 2 4	・筆者の感じ方や、表現上の特徴を捉えている。(言語) ・古文のリズムを味わいながら音読・暗唱している。(言語) ・作品中に描かれた人物の気持ちを捉えている。(読む) ・表現の特徴に注意して朗読している。(言語) ・登場人物の状況や気持ちを捉え、当時の武士の生き方について読み取り、考えたことをまとめている。(読む) ・漢詩の形式を理解し、特徴的な表現に注意して朗読・暗唱している。(言語) ・情景や作者の心情を捉えている。(読む) ・多義語や同音異義語について理解している。(言語) ・四種類の助詞の種類や働きについて理解している。(言語) ・提案理由を説得力のあるものに練りあげ、質問や意見を予想し、答えの示し方を工夫している。(話・聞) ・資料を作成し、提示を工夫し話している(話・聞)。 ・情景や心情を捉え、リズム良く朗読している。(言語) ・抽象的な語句の文脈上の意味を捉えている。(言語) ・文章構成の工夫を捉え、気づいたことを挙げていく。(読む) ・自分の知識や体験と関連付けながら、筆者の考えに納得できる部分、できない部分を挙げていく。(読む) ・同訓異字を理解し、文脈に応じて使い分けている。(言語) ・助動詞の働きを知り、さまざまな種類の助動詞がそれぞれ異なる意味を持つことを理解している。(言語) ・立場を明確にし、分かりやすい構成で書いている。(書く) ・説得力を持たせるために、根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んだりしている。(書く) ・効果的な描写に着目し、人物の変化を捉えている。(読む) ・展開や表現の工夫について、具体的な箇所を指摘しながら、気づいたことや考えたことを挙げていく。(関心) ・それぞれの特徴について理解している。(言語) ・同音異義語を理解し、文脈に応じて使い分けている(言語)。 ・手紙の基本的な形式を知り、丁寧な手紙を出すときの場合について理解している。(書く) ・語句や文の使い方などに注意して推敲している。(書く) ・複数の本を読み比べて、考えをブックトークメモにまとめ、紹介をしている。(読む)	観察 テスト テスト ワークシート 観察 テスト 提出物 ワークシート テスト 作品 テスト 提出物 ワークシート 観察 テスト 提出物 ワークシート 提出物 テスト 提出物
	1	読む 情報検索で開ける世界 言葉 新しい常用漢字 曖昧な文・分かりづらい文 話す・聞く 話し合いで考えを広げよう 2 書く いきいきと描き出そうー俳句から始まる物語 ★言語活動 材料を活用し、物語を作る。 3 読む わたしが一番きれいだったとき 読む 坊ちゃん 日本の名作を読もう	・筆者の考え方を捉え、自分の考えを持つ。 ・書籍やインターネットを使って情報を集め、それらの情報の特徴について考える。 ・常用漢字について理解する。 ・曖昧な文や分かりづらい文になる原因を理解し、分かりやすい文の書き方を知る。 ・さまざまな情報手段を使って討論のテーマを決め、自分たちの提案をまとめる。 ・司会者やパネリストの役割を押さえ、目的に沿って話し合う。 ・風景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ・書いた物語を読み合い、意見を交換し、自分の考えを広げる。 ・心情表現に注意して詩を読む。 ・文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。	4 1 2 6 9 2 4	・筆者の考え方を捉え、自分の考えを挙げていく。(読む) ・集めた情報を比較して、それぞれのメディアの特徴について気づいたことを挙げていく。(読む) ・常用漢字表について知り、理解している。(言語) ・文の意味が曖昧で分かりづらくなる原因を知り、曖昧さを回避する手立てを理解している。(言語) ・多様な情報手段を活用してテーマを設定し、根拠を固め、質問や反論を予想して提案をまとめている。(書く) ・司会者やパネリストの役割を理解し、目的に沿って発言したり、相手の意見から自分の考えを広げたりしている。(話・聞) ・場面の風景をいきいきと描き、会話文や行動の描写から人物の心情が伝わってくるように書いている。(書く) ・作品を読み合い、意見を述べたり、多様な発想や描写の工夫に気づいて考えを広げたりしている。(関心) ・表現から心情を読み取り、筆者の思いを捉えている。(読む) ・この詩に表れているものの見方や考え方について、自分の感想を述べている。(書く) ・主人公と清の人物像を捉え、感じたことや考えたことを挙げていく。(読む)	観察 テスト 提出物 観察 提出物 提出物 テスト 提出物